

社会資本総合整備計画（防災・安全交付金） 事後評価書

令和2年3月12日

計画の名称	1 安全安心のまちづくり（防災・安全）	重点計画の該当	
計画の期間	平成26年度～平成30年度（5年間）	交付対象	平塚市
計画の目標	道路や各種公共施設などの社会資本は、平常時の利用に供する役割のほか、災害時の避難や物資の運搬などに必要不可欠かつ重要な役割を担っている。しかしながら、多くの社会資本は老朽化が顕著で、通常の利用に支障をきたすのみならず、災害時に求められる役割を担うことが難しい状態になってしまっているのが現状である。それら社会資本を、危険度、重要度の高いものから順次整備するとともに、防災・安全に対する影響等を実施することで、災害に強いまちづくりを推進し、防災・減災に備え、市民の安全・安心を確保する。		

計画の成果目標（定量的指標）	<ol style="list-style-type: none"> 高齢者や障害者等の移動の安全性の確保と快適性の向上を図る 安全で良好な道路サービスを提供するため、老朽化する道路構造物を的確に維持管理することにより、誰もが安心して生活できる持続可能な道路を目指す 安全で快適な自転車走行空間の整備により、交通事故の少ない安全で安心して通行できる自転車走行環境の確保を図る 通学路の合同点検にて抽出された対象箇所を解消し、安全で安心な通学路の確保を図る 広域避難場所として災害時に機能できる公園の再整備 公園施設長寿命化計画に基づく対策
----------------	---

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現状値及び目標値			備考	
	当初現状値 (H26当初)	中間実績値 (H28末)	当初最終目標値 (H30末)		
1-A-1 (バリアフリー整備済路線数/バリアフリー整備対象路線数) × 100	0%	20%	33%	※中間評価の結果を基に最終目標値を修正	
1-A-2 幹線道路の望ましい管理水準 (MCI ≧ 5) の割合	83%	89%	93%		
1-A-3 橋梁長寿命化修繕計画に位置付けた橋梁を健全度3以上に保つ割合	95%	98%	100%		
1-A-3 長寿命化修繕計画に基づいた橋梁の健全な管理水準 (対策判定区分「B」以上) を保つ割合	56%	63%	67%		
1-A-4 (緊急輸送路及び幹道に架かる耐震補強橋梁数/緊急輸送路及び幹道に架かる橋梁数) × 100	48%	62%	※60%		
1-A-5 (通学路における対策済箇所数/通学路における対策が必要な箇所数) × 100	0%	50%	100%		
1-A-6 点検を踏まえた修繕の完了数	0%	(27%)	(100%)		
1-A-7 自転車ネットワーク整備計画の整備率	0%	60%	※27%		
1-A-8 広域避難場所としてのデント等の設置可能な広場・駐輪場を整備する。	0%	10%	20%		
1-A-9 (平塚市総合公園長寿命化対策済施設数/平塚市総合公園長寿命化対象施設数) × 100%	0%	0%	50%		
1-A-10 修繕及び更新等を踏まえた橋梁定期点検の完了数	0%	0%	3%		
	0%	30%	100%		
全体事業費	合計 (A+B+C) 2,688.7 百万円	A 2,627.8 百万円	B - C 60.9 百万円	D -	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D) 2.27%

事後評価	
○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
平塚市において評価を実施	令和2年3月
	公表の方法
	平塚市ホームページ

交付対象事業																	
A1 基幹事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 決定状況	備考
									H26	H27	H28	H29	H30				
1-A-1	道路	一般	平塚市	直接	平塚市	バリアフリー整備事業	点字ブロック、段差解消等	平塚市						110.9	-	-	道路整備
1-A-2	道路	一般	平塚市	直接	平塚市	舗装修繕事業	舗装修繕	平塚市						591.0	-	策定済	道路整備
1-A-3	道路	一般	平塚市	直接	平塚市	橋梁長寿命化修繕事業 (修繕)	橋梁修繕など	平塚市						361.1	-	策定済	道路整備
1-A-4	道路	一般	平塚市	直接	平塚市	橋梁耐震補強事業	耐震補強	平塚市						166.0	-	-	道路整備
1-A-5	道路	一般	平塚市	直接	平塚市	通学路安全確保のための道路環境整備事業	安全対策	平塚市						70.5	-	-	道路管理課・学務課
1-A-6	道路	一般	平塚市	直接	平塚市	点検による緊急修繕事業	照明・標識など	平塚市						38.0	-	策定済	道路管理課・道路管理課
1-A-7	道路	一般	平塚市	直接	平塚市	自転車ネットワーク整備事業	自転車走行空間の整備	平塚市						69.2	-	-	道路整備
1-A-8	公園	一般	平塚市	直接	平塚市	平塚市都市公園等事業	公園整備	平塚市						400.0	-	-	みどり公園・水辺課
1-A-9	公園	一般	平塚市	直接	平塚市	平塚市都市公園安全・安心対策事業	長寿命化対策、9施設	平塚市						795.6	2.67	策定済	総合公園課
1-A-10	道路	一般	平塚市	直接	平塚市	橋梁長寿命化修繕事業 (点検)	橋梁定期点検	平塚市						25.5	-	-	道路整備
									合計					2,627.8			

B 関連社会資本整備事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H26	H27	H28	H29	H30		
1-B-1															
									合計						
番号	一体的に実施することにより期待される効果												備考		

C 効果促進事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H26	H27	H28	H29	H30		
1-C-1	道路	一般	平塚市	直接	平塚市	平塚市バリアフリー基本構想策定	平塚市バリアフリー基本構想の策定	平塚市						3.0	交通政策課
1-C-3	道路	一般	平塚市	直接	平塚市	「仮称」平塚市自転車利用環境推進計画策定	自転車・及びバリアフリーの社会基盤、自転車利用環境の整備、等	平塚市						5.0	交通政策課
1-C-6	道路	一般	平塚市	直接	平塚市	道路施設撤去事業	橋梁N=1橋	平塚市						36.9	道路整備課
1-C-7	道路	一般	平塚市	直接	平塚市	公共サイン整備事業	公共サイン整備による安全対策	平塚市						16.0	まちづくり政策課
									合計					60.9	
番号	効果促進事業を実施することにより期待される効果												備考		
1-C-1	高齢者や障害者等の移動の安全性の確保と快適性の向上を図る														
1-C-3	安全で快適な自転車走行空間の整備により、交通事故の少ない安全で安心して通行できる自転車走行環境の確保を図る														
1-C-6	安全で良好な道路サービスを提供するため、老朽化する道路構造物を的確に維持管理することにより、誰もが安心して生活できる持続可能な道路を目指す														
1-C-7	高齢者や障害者等の移動の安全性の確保と快適性の向上を図る														

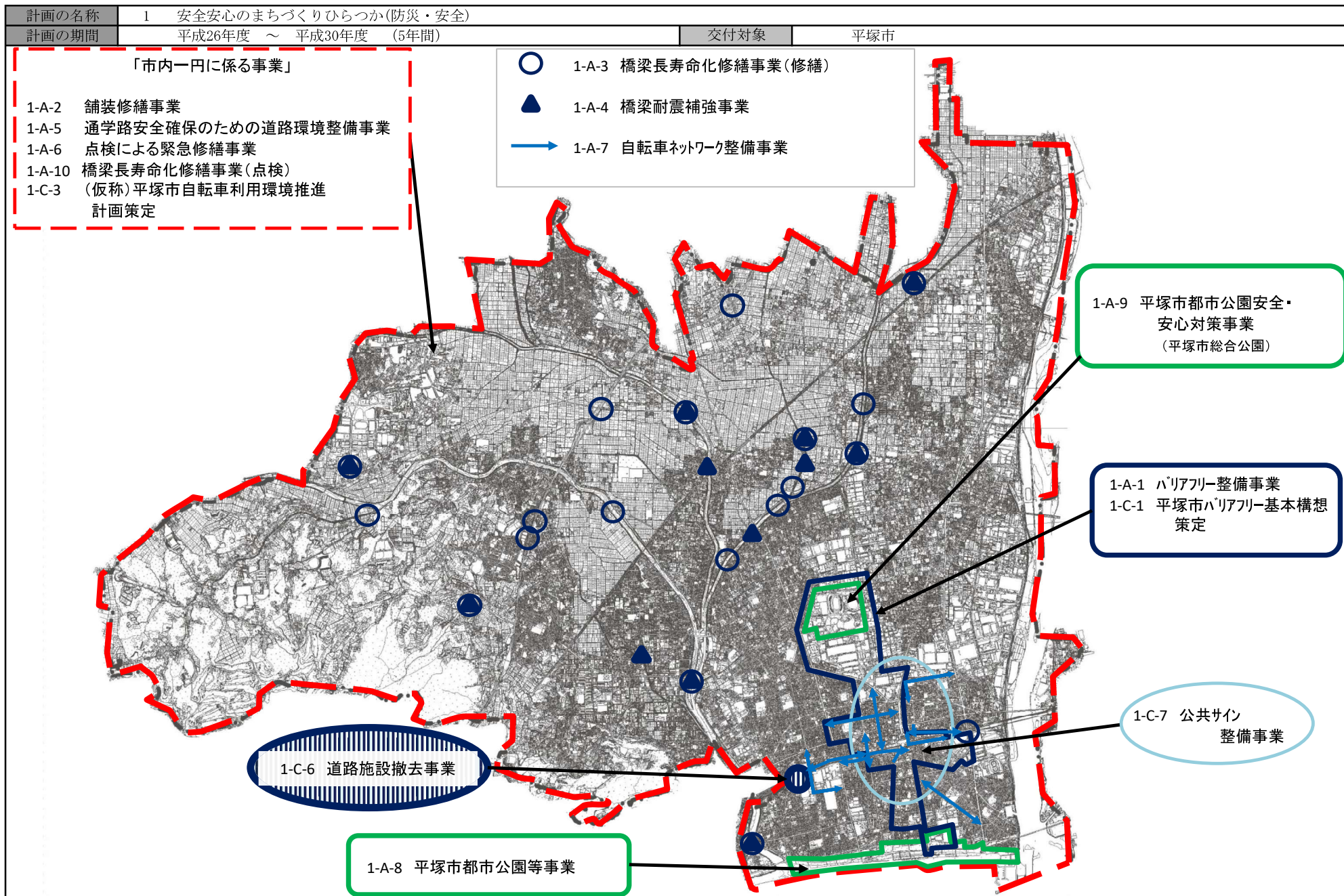
D 社会資本整備円滑化地帯整備事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H26	H27	H28	H29	H30		
1-C-1	1-A-1	バリアフリー基本構想の周知、及びバリアフリー整備事業推進の効率化											備考		
1-C-3	1-A-7	(仮称)平塚市自転車利用環境推進計画を策定することで、自転車ネットワーク事業推進の効率化を図り、事業効果を高める													
1-C-6	1-A-4	施設利用者の減少した道路施設を撤去し、第三者被害のリスクの低減を図る													
1-C-7	1-A-1	特定経路等を中心に歩行者系誘導サインを整備することにより、公共施設利用者の施設への誘導性や安全性の向上を図る													

交付金の執行状況 (単位:百万円)					
	H26	H27	H28	H29	H30
配分額	171	132	199	135	111
計画別流用	0	0	0	0	0
前年度からの繰越額	171	132	199	135	111
交付額	0	50	13	80	0
支払済額	121	170	132	217	90
翌年度繰越額	50	13	80	0	21
うち未契約繰越額	0	0	0	0	0
不用額	0	0	0	0	0
未契約繰越率・不用率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

※ 平成26年度以降の各年度の決算額を記載。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況				
I 交付金を投入したことによる効果		交付金を投入したことにより、それら社会資本を、危険度、重要性の高いものから順次整備することで、災害に強いまちづくりを推進し、防災・減災に備え、市民の安全・安心の確保につながった。		
II 定量的指標に関連する交付対象事業の効果の発現状況		高齢者や障害者等の移動の安全性の確保と快適性の向上を図った。 安全で良好な道路サービスを提供するため、老朽化する道路構造物を維持管理することにより、誰もが安心して生活できる持続可能な道路を確保した。 安全で快適な自転車走行空間の整備により、交通事故の少ない安全で安心して通行できる自転車走行環境を確保した。 通学路の合同点検にて抽出された対象箇所を解消し、安全で安心な通学路を確保した。 広域避難場所として災害時に機能できる公園の再整備は公設設置管理制度を活用したため本計画では行っていない。 公園施設長寿命化計画に基づく対策を行った。		
III 定量的指標の達成状況	指標① (1-A-1)	最終目標値	33%	目標値と実績値に差が出た要因 早期に協議を進め、計画的に整備を行ったことにより、最終目標値を大きく上回ることができた。
		最終実績値	80%	
	指標② (1-A-2)	最終目標値	93%	目標値と実績値に差が出た要因 平成29年度から公共施設等適正管理推進事業債（長寿命化事業）の拡充により、防災・安全交付金で対象となる補修工法が変更されたため、最終目標値を達成することができなかった。
		最終実績値	90%	
	指標③-1 (1-A-3)	最終目標値	100%	目標値と実績値に差が出た要因 計画的に整備を行ったことにより、最終目標値を達成することができた。
		最終実績値	100%	
	指標③-2 (1-A-3)	最終目標値	67%	目標値と実績値に差が出た要因 本事業を重点的に実施することにより、最終目標値を達成することができた。
		最終実績値	80%	
	指標④ (1-A-4)	最終目標値	60%	目標値と実績値に差が出た要因 本事業を重点的に実施することにより、最終目標値を達成することができた。
		最終実績値	66%	
	指標⑤ (1-A-5)	最終目標値	100%	目標値と実績値に差が出た要因 対策路線に必要な補修費用の増により、計画通りに進めることができなかった。
		最終実績値	80%	
	指標⑥ (1-A-6)	最終目標値	27%	目標値と実績値に差が出た要因 計画的に整備を行ったことにより、最終目標値を達成することができた。
		最終実績値	27%	
	指標⑦ (1-A-7)	最終目標値	20%	目標値と実績値に差が出た要因 計画的に整備を行ったことにより、最終目標値を達成することができた。
		最終実績値	24%	
指標⑧ (1-A-8)	最終目標値	50%	目標値と実績値に差が出た要因 本事業は、H29年度の都市公園法の改正に伴い公設設置管理制度を活用することとしたため未実施である。今後は社会資本整備総合交付金の官民連携賑わい拠点創出事業を用いて湘南海岸公園龍城ヶ丘ゾーン整備・管理運営事業として整備を行っていく。	
	最終実績値	0%		
指標⑨ (1-A-9)	最終目標値	3%	目標値と実績値に差が出た要因 長寿命化対象施設が膨大にあるため目標値は低いが、着実に修繕・更新を実施し、目標達成をすることができた。	
	最終実績値	3%		
指標⑩ (1-A-10)	最終目標値	100%	目標値と実績値に差が出た要因 平成30年度から整備計画を移行したため、最終目標値を達成することができなかった。	
	最終実績値	54%		
IV 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)				
3. 特記事項（今後の方針等）				
完了していない事業については、神奈川県とりまどめの社会資本整備総合整備計画と補助事業に移行し事業を推進する。 ・「7. 通学路等の生活空間における安全・安心の確保（防災・安全）」 ・「13. 市町村道における交通安全対策の推進（防災・安全）」 ・「14. 市町村道の計画的な維持管理と震災対策による安全・安心な道路環境の確保（防災・安全）」（※公共施設等適正管理推進事業債（長寿命化事業）含む） ・「道路メンテナンス事業補助」				

(参考図面)



計画の名称	1 安全安心のまちづくりひらつか(防災・安全)	交付対象	平塚市
計画の期間	平成26年度 ~ 平成30年度 (5年間)		

効果発現事例

1-A-3
橋梁長寿命化修繕事業(修繕)

平成26年度から始まった、1巡目の法定点検にて、道路橋の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態である「早期措置段階Ⅲ」判定と診断された橋梁に対し、修繕を行った結果、2巡目の法定点検では道路橋の機能に支障が生じていない状態である「健全Ⅰ」判定と診断され、効果発現が見られた。

馬入本町架道橋:平成28年度工事



平成27年度実施1巡目点検
判定Ⅲ



令和元年度実施2巡目点検
判定Ⅰ



ひびわれ補修施工



ひびわれ補修施工



断面修復施工



断面修復施工

滝沢橋:平成30年度工事



平成26年度実施1巡目点検
判定Ⅲ



令和元年度実施2巡目点検
判定Ⅰ



塗膜塗替え施工



塗膜塗替え施工



橋面防水・舗装修繕施工



橋面防水・舗装修繕施工